

# 105-260

## 問題文

57歳女性。大腿骨頸部骨折の治療を目的とした手術のために本日入院した。手術は4日後に予定している。病棟担当薬剤師が患者の持参薬を確認したところ、下記5種類の薬剤を所持していた。

持参薬

- アムロジピンベシル酸塩錠
- アトルバスタチンカルシウム水和物錠
- アルファカルシドールカプセル
- ラロキシフェン塩酸塩錠
- ロキソプロフェンナトリウム水和物錠

## 問260

医師に休薬を提案すべき薬剤として適切なのはどれか。1つ選べ。

1. アムロジピンベシル酸塩錠
2. アトルバスタチンカルシウム水和物錠
3. アルファカルシドールカプセル
4. ラロキシフェン塩酸塩錠
5. ロキソプロフェンナトリウム水和物錠

## 問261

手術前から休薬すべき薬剤のその理由となる副作用はどれか。1つ選べ。

1. 房室ブロック
2. 高血糖
3. 高 $\text{Na}^+$ 血症
4. 血栓形成
5. 消化器障害

---

## 解答

問260：4問261：4

## 解説

### 問260

問261 と合わせて解説します。

### 問261

手術前に休薬が必要な代表的薬物として  
血をサラサラにする薬（手術で大出血につながる）の他に、**女性ホルモン系の薬**があげられます。

この理由ですが  
手術後基本的にずっと横たわっている → **血栓でしやすい** ためです。女性ホルモンの一種であるエストロゲンは、肝臓に作用し血を固まりやすくする物質の合成を促進します。そのため、休薬が必要です。

持参薬について

アムロジピンは Ca 拮抗薬です。降圧薬です。  
アトルバスタチンはスタチン系です。HMG-CoA 還元酵素（hydroxymethylglutaryl-CoA reductase）阻害薬です。脂質異常症治療薬です。  
アルファカルシドールは、活性型ビタミン D<sub>3</sub> 製剤です。骨粗しょう症治療薬です。  
ラロキシフェンは、エストロゲン受容体を刺激し、骨吸収を抑制する骨粗しょう症治療薬です。女性ホルモン

様の作用なので、休薬が必要です。  
ロキソプロフェンは NSAIDs です。痛み止めです。

以上より

問 260 の正解は 4 です。

問 261 の正解は 4 です。